

地域がひとつになって

平成25年度小野町総合 防災訓練を実施

小野町総合防災訓練が9月8日、夏井第一小学校周辺を会場として実施されました。

地震や台風などの自然現象が原因で災害が発生した際に、どのように対応するかなど、自助・共助・公助を基本とした訓練が行われました。

【自助】
水消火器による消火体験、防災用品展示、てんぷら油燃焼実験

【共助】
土砂崩れや同時多発火災、水害など地域の消防団や消防協力隊の力で対処する訓練、自主防災会によるバケツリレー、炊き出し訓練

【公助】
消防署、消防団、医師会の連携による救出救護訓練

訓練当日は、予定していた福島県消防防災ヘリコプターによる訓練が中止になってしまいました。参加された消防団をはじめとする災害対応の関係機関や、夏井・南田原井・湯沢の各自自主防災会、夏井第一小学校の児童・保護者・教師の皆さんが、真剣に取り組まれ、地域の防災力向上が図れました。

また訓練とは別に夏井第一小学校の児童の皆さんは、消防署の指導によるロープ渡りや、日本赤十字社福島県支部と社会福祉協議会の協力で炊飯袋（ハイゼックス）による炊き出しを体験し、笑顔いっぱい姿が多く見られました。

訓練実施にあたり、ご協力をいただいた地域の皆さんや、団体の皆さんに紙上より厚くお礼申し上げます。

「自助」とは：

家庭で日頃から災害に備えたり、災害時には事前に避難したりするなど、自分で守ることを言います。

「共助」とは：

地域で要援護者の避難に協力したり、地域の方々と消火活動をしたり、周りの人たちと助け合うことを言います。

「公助」とは：

役所や消防・警察による救助活動や支援物資の提供など、公的支援のことを言います。

災害時には、自助・共助・公助が互いに連携し一体となることで、被害を最小限にできるとともに、早期の復旧・復興につながります。



同時多発火災防衛訓練



ロープ渡り体験



土砂災害復旧訓練



救急救護訓練



小学生の消火器体験